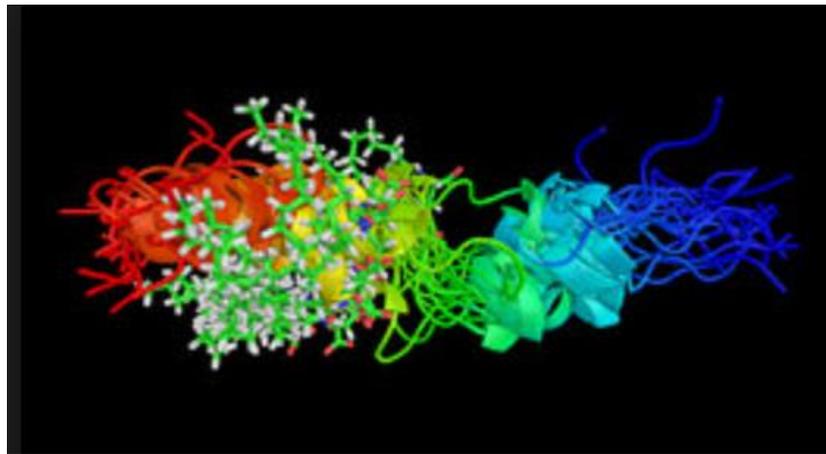


# GLP-1 受容体作動薬による心血管リスクの減少

グルカゴン様ペプチド（GLP）-1 受容体作動薬は、血糖降下作用だけでなく、心血管イベント抑制や体重減少作用が期待されている注射薬です。



GLP-1 などのインクレチンは、食後に腸管から分泌されるペプチドホルモン。GLP-1 受容体作動薬は、血糖値依存的なインスリン分泌促進、グルカゴン分泌抑制、胃内容排泄遅延、満腹感促進作用などが知られています。



単剤では低血糖を起こしにくく、体重減少効果が期待できます。米国では抗肥満薬（日本承認用量より高用量）としても承認されています。